

中学校で地元企業の職業体験！

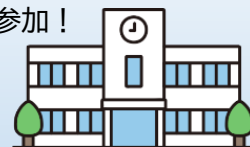
－WAKU WAKU WORK in 川西中、小国中、宮内中、米沢七中－



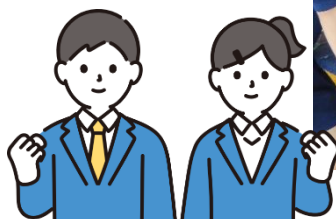
WAKU WAKU WORKは、進路決定前の中学生に対し、体験を通して地元企業の魅力を知ってもらい、若者の地元定着・地元回帰につなげることを目的として令和4年度から実施しています。

今年度は、5月～6月にかけて4校で開催し、延べ52事業所にご協力いただきました。このうち、初開催となった小国中学校では、地元企業を中心とした10事業所のご協力のもと、叶水中学校の生徒を含む1年生40名が、製造業や建設業、保育・福祉、消防・警察など幅広い職業を体験しました。参加した生徒からは、「普段あまり関わらない仕事にも携わることができた」、「想像よりも大変だった」、「自分の将来について改めて考えを深めることができた」といった感想が聞かれ、事業所からは「生徒の皆さんが楽しそうに体験してくれていて、大変やりがいのあるイベントだった」といった声が聞かれるなど、大変好評でした。

- ・5月28日(木)WAKU WAKU WORK in 川西中 2年生109名を対象に、19事業所が参加！
 - ・6月4日(木)WAKU WAKU WORK in 小国中 1年生40名を対象に、10事業所が参加！
 - ・6月12日(金)WAKU WAKU WORK in 宮内中 2年生69名を対象に、10事業所が参加！
 - ・6月16日(火)WAKU WAKU WORK in 米沢七中 2年生60名を対象に、13事業所が参加！
- このほか、今年度は、9月に白鷹中学校、10月に高畠中学校での開催を予定しております。



網戸の
張替え体験



溶接体験

■地域産業経済課 産業振興担当 ☎0238-26-6043

目次

トピックス&事業報告&お知らせ

- ・中学校で地元企業の職業体験！
－WAKU WAKU WORK－ …01
- ・やまがたフラワーフェスティバル2026開催 …02
- ・廃棄物適正処理・3R推進ポスター募集！ …02
- ・高校生を対象とした建設工事現場見学会 …03
- ・建設分野の若手エンジニアによる仕事説明会 …03
- ・社会を支える税の大切さ～次代を担う子供たちへ～ …04
- ・地域と福祉をつなぐ場に
一障がい者の自立支援を後押し― …04
- ・源流の森(飯豊町)で障がい者の森林散策 …04
- ・地域共生社会の実現に向けた市町情報
交換会を開催 …05
- ・ごみのないクリーンな山形県の実現を、
置賜から～原状回復を実施しました～ …05
- ・クマ出没警報発令中！ …05
- ・夏の省エネの取組みについて …05
- ・ほけんだより …06
- ・適度な運動と、食事はおいしく、バランス
よく …06
- ・9月10日から16日は「自殺予防週間」です …06
- ・9月24日～30日は結核・呼吸器感染症
予防週間です！ …06

置賜総合支庁ニュース8月号

発行元：山形県置賜総合支庁/Vol.207

Instagram



Facebook



HP



X



置賜総合支庁公式SNS！
ぜひフォローよろしくお願いします☺

県内最大のお花のイベント やまがたフラワーフェスティバル2026開催

例年大人気のお花のイベント「やまがたフラワーフェスティバル」が今年は置賜で開催されます。県産花きの販売に加え、体験イベントや来場者プレゼントをご用意しておりますので、ぜひ奮ってご来場ください！

○開催日時・場所

10月10日(土)10時～16時

南陽市交流プラザ蔵楽(南陽市宮内1004-1)

○体験イベント(参加費無料、事前申込み制)

- ・かんたんフラワーアレンジメント体験:置賜農業高校の学生さんが教えます
- ・キッズ寄せ植え体験教室:地元のお花屋さんが教えます(中学生以下対象)

○来場者プレゼント

- ・来場された先着100名様にお花をプレゼント
- ・フラワーフェスティバル会場と南陽の菊まつり会場両方のフラワーアートで写真を撮影された方に抽選でお花をプレゼント



昨年度のやまがたフラワーフェスティバルの様子

県公式HP

フェスティバルの詳細や
体験イベント申込は
こちらから→



■農業振興課 生産流通担当 ☎0238-26-6051

廃棄物適正処理・3R推進ポスターを募集しています！

環境課が事務局を務める置賜地区不法投棄防止対策協議会では、廃棄物の適正処理・3R(リデュース・リユース・リサイクル)の普及啓発のため、置賜地域の小・中学生を対象に『廃棄物適正処理・3R推進ポスターコンクール』を実施します。

【募集内容】

- (1) 募集期間 令和8年7月1日(水)～令和8年9月4日(金)
- (2) 募集対象 置賜地域の小学4年生から中学3年生まで
- (3) 募集内容 廃棄物の適正処理(ごみのポイ捨て及び不法投棄の防止)・3Rの推進を呼びかける趣旨のポスター

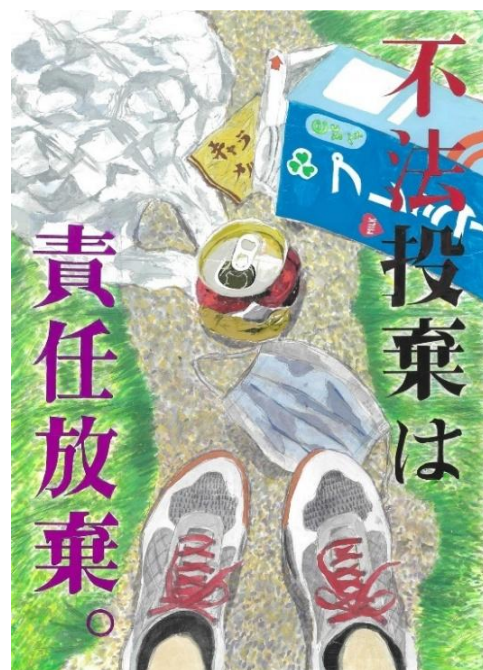
詳細はこちら



優秀作品は、賞品を贈呈のうえ、不法投棄防止啓発のためのグッズや看板のデザインとして活用します。また、応募者全員に参加賞を進呈します。



R7最優秀作品 一小学生の部ー
「美しい未来のためにできることから始めよう！」
米沢市立西部小学校6年 竹林 玲香さん



R7最優秀作品 一中学生の部ー
「不法投棄は責任放棄。」
長井市立長井南中学校 新野 夏穂さん

3R(スリーアール)とは？

Reduce(リデュース):「ごみになるものを減らす」
Reuse(リユース):「繰り返し使う」
Recycle(リサイクル):「資源の再利用」
の3つの「R」の総称のこと

■環境課 廃棄物対策担当 ☎0238-26-6034



高校生を対象とした建設工事現場見学会



工事内容の説明

山形県建設業協会米沢支部及び置賜総合支庁では、建設業界の将来を担う若手技術者の就業促進と地元定着を目的として「建設工事現場見学会」を毎年開催しています。

今年度は6月19日(金)に開催し、県立米沢鶴城高等学校の1年生50名が参加しました。

当日は置賜地域4箇所の建設工事現場などを見学し、建設業の重要性や実際の仕事内容、活用している技術を学んでももらいました。

県が行う工事では、南陽市を流れる吉野川の工事現場と、川西町時田の国道287号米沢川西バイパスの工事現場を間近で見学し、河川や道路などのインフラ整備に対する関心が高まった様子でした。

また、現場ではドローンの操作体験や最新のICT技術を搭載したショベルカーでの操作体験など、建設業における最新技術にも触れ、実りある見学会となりました。

就職の選択肢として興味を持ってもらえるよう、今後も同様の機会を設け、建設業の魅力発信の取組みを継続してまいります。

■建設総務課 建設技術調整担当 ☎0238-26-6099



ICT建設機械の操作体験

若手技術者による仕事説明



グループワーク

建設分野の若手エンジニアによる仕事説明会

山形県置賜総合支庁では、建設業に対する理解の促進と未来の担い手の確保に向けた事業として、地元の高校生を対象に「建設分野の若手技術者による仕事説明会」を開催しています。今年度は5月29日(金)に開催し、県立置賜農業高等学校の1・2年生約20名が参加しました。

当日は、県職員、設計コンサルタント、建設会社の若手技術者3名が講師となり、建設業界の道を志した経緯の紹介や、各々が担当している業務内容などを説明しました。

また、各講師と生徒5名ほどでグループワークを行い、より詳細な業務内容や、仕事で苦労した点、やりがいといった体験談について話し合いました。生徒の皆さんも、普段は聞くことができない分野でのお話に興味津々の様子でした。

建設業界を就職の選択肢の一つとして定着させ、若者の就業を促すためにも、引き続き業界の魅力を発信する取組みを行ってまいります。

■建設総務課 建設技術調整担当 ☎0238-26-6099

社会を支える税の大切さ ～次代を担う子供たちへ～

7月2日(木)に米沢市立上郷小学校、7日(火)に長井市立西根小学校にて、6年生を対象として「租税教室」を開催しました。

本教室は租税教育推進協議会の事業の一環であり、子供たちに社会生活における税の意義や役割を正しく理解してもらうことを目的としています。

今回、当課職員が講師を務め、「税ってなんだろう？何に使われているの」をテーマに授業を行い、グループワークでは、児童が議員になりきり、地域の課題解決に向けた「新しい税金」の使い道や、住みよい街づくりのため、限られた予算でどんな施設を作るかなどを熱心に話し合いました。1億円レブリカの重量体験では、その重みに驚きの声が上がりました。

租税教室を通じ、子供たちに自分たちの暮らしを支える税金の大切さを、楽しみながら学んでもらう貴重な機会となりました。

上郷小での
租税教室



西根小での
租税教室



■税務課 課税第一担当
☎0238-26-6014
■西置賜税務室 課税担当
☎0238-88-8210



地域と福祉をつなぐ場に —障がい者の自立支援を後押し—



7月11日(土)に、障がい者就労事業所による製品販売会「ふらっとよってけるマルシェ」が道の駅米沢で開催され、置賜地域の6事業所と地域外の4事業所が出店し、多くのお客様で賑わいました。

蒸し暑い天気にもかかわらず、事業所の呼びかけに多くの来場者が足を止めて、コーヒーの試飲やトマトの試食など、実際に手に取って商品を選んでいました。

販売会は、就労継続支援事業所の利用者の皆さんが心を込めて作った製品を通じて、地域の方々と触れ合う場となり、障がいをお持ちの方の自立支援、就労支援にもつながります。

「ふらっとよってけるマルシェ」は県内各地で開催され、道の駅米沢では11月14日(土)にも開催予定ですので是非ご利用ください。

■地域保健福祉課 地域福祉担当 ☎0238-26-6029



源流の森(飯豊町)で障がい者の森林散策

5月19日(火)に、置賜地域の障がい者施設利用者と身体障がい者協会員、49名が源流の森で森林体験活動を行いました。

晴天の中、「障がい者森林活動案内ボランティア」や「源流の森インタープリター」の介助と案内により、「白川湖の水没林」を眺めたり、植物や野鳥を観察しながら、深緑の源流の森の中を楽しく散策しました。最後に、インタープリターによる手作りアルプホルンの生演奏を聴きました。

参加した利用者からは、「自然との触れ合いがよかった」「イタドリを使った笛が楽しかった」などの感想が寄せられました。

障がいのある方にも置賜の森の魅力に触れてもらうため置賜総合支庁が企画しており、10月23日(金)に高島町の「まほろば古(いにしえ)の里歴史公園」で、第2回目を予定しています。



■地域保健福祉課 地域福祉担当 ☎0238-27-1487

地域共生社会の実現に向けた市町情報交換会を開催



7月31日(金)に、置賜総合支庁において「包括的な支援体制の整備」をテーマに管内市町の担当職員が集まり、地域共生社会の実現に向けた情報交換を行いました。

社会福祉法において、包括的な支援体制の整備は全市町の努力義務とされており、今回はその手段の一つである「重層的支援体制整備事業」に係る国の制度の流れを県が説明したあと、実施をしている長井市と高島町の実情を紹介したほか、各市町の現状を報告し共有しました。

その後の意見交換では、人口規模、福祉ニーズなど地域の実情に応じた体制づくりの工夫や課題、分野の枠を超えた相談支援のあり方や連携の進め方について活発な意見が交わされました。

今後も、置賜総合支庁では、管内市町と連携しながら、地域の実情に応じた包括的な支援体制の整備に向けた取組みを支援してまいります。

■地域保健福祉課 地域福祉担当 ☎0238-26-6028



ごみのないクリーンな山形県の実現を、置賜から ～原状回復を実施しました～

置賜地区不法投棄防止対策協議会では、6月に川西町内の不法投棄箇所において原状回復作業を実施しました。この作業により、可燃ごみ140kg、不燃ごみ900kg、金属くず880kg、家電10台の回収・処分をすることができました。当日は、地区住民の皆様をはじめ、協議会会員である産業資源循環協会不法投棄専門部会員（㈲県南エコサービス 代表取締役 島貫利幸 様、東南置賜建設業協会（株）殖産工務所）の皆様にご協力をいただき、地域一体となって環境美化活動を推進することができました。

廃棄物の不法投棄は、美しい山形の自然、景観を破壊し、イメージを大きく損ねます。私たち一人ひとりのマナーと協力で不法投棄をなくし、美しい自然と景観を守りましょう。

■環境課 廃棄物対策担当 ☎0238-26-6034



クマ出没警報発令中！

■環境課 自然環境担当
☎ 0238-26-6035

クマ出没警報が発令中です！7月26日時点で置賜地域のクマ目撃件数は201件となっています。これは昨年同日と比べて30件増加しています。クマに注意し、被害に遭わないように次の点に気を付けましょう！

- ・クマが市街地に出没した場合、近隣にいる方は屋内へ避難し、安全が確保されるまで外に出ないようにしてください。
- ・クマの目撃情報等があったところでの不要不急の早朝、夜間の外出は控えてください。
- ・万一、クマに出会ったら落ち着いてゆっくりとその場から離れてください。
- ・農作業中は常にラジオなどで音を鳴らしながら作業してください。

置賜総合支庁では、クマ出没防止対策のひとつとして、昨年度実施した県管理河川の藪の刈払いを今年度も行います。各市町からの要望を踏まえ、9月に実施する予定で準備を進めています。

最上川(米沢栄養大学付近)の例

※写真は令和7年度の状況



夏の省エネの取組みについて「夏の省エネ・節電にチャレンジ」

現在「省エネ家電買換えキャンペーン」実施中です！



©YOC

山形県では、「ゼロカーボンやまがた2050」を宣言し、2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指しています。

暑い日が続く、エアコンや冷房機器の電気量が多くなる時期です。外が暑く、屋内で過ごす方も多いと思いますが、暑さが和らいでいると感じたら無理のない範囲でエアコンの冷房設定温度をあげることで、節電につながります。

加えて、エアコンと扇風機を併用することで、より少ない電力で涼しさを感じられます。家庭でできるちょっとした省エネの取組みを始めてみませんか。

なお、エアコンだけでなく冷蔵庫なども、環境性能がどんどん向上しています。より省エネな家電への買換えを行うことで節約にもなりますので御検討ください。

■環境課 環境企画担当 ☎ 0238-26-6035

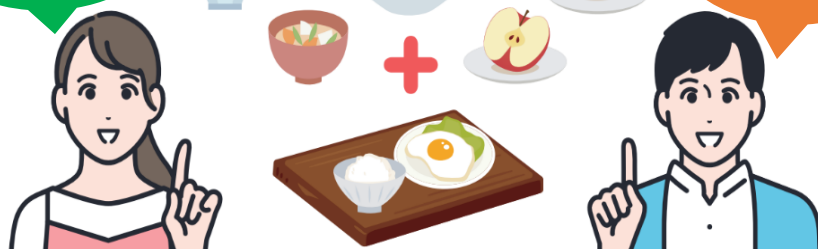
『適度な運動と、食事はおいしく、バランスよく』

—9月は食生活改善普及運動、健康増進普及月間です—

まずは毎日、あと一皿ずつ野菜と果物を
プラスしてみましょう

〈野菜〉
野菜の摂取量は
年々減少。
特に20～30代で
少ないです。

〈果物〉
果物の摂取も
低下傾向。
20～40代では
半数以上が
食べていません。



例えば… ・車は入口から離れた場所に駐車して歩数アップ
・お浸しにかけしょうゆは、無意識にかけず、まず味をみてから少しずつ
・朝食、昼食に小鉢野菜をプラス など
あなたの「これならできるかも！」は？

食事に野菜はありますか？野菜・果物にはビタミンやミネラル、食物繊維が豊富に含まれています。「ちよっぴり減塩」、「あとひと皿の野菜・果物」を毎日の食事に取り入れ、適切な食生活につなげましょう。

肥満や生活習慣病などを予防し、健康な生活を維持するために、現在の生活を振り返ってみませんか。



県の減塩ベジアッププロジェクトのロゴマーク

■保健企画課 健康長寿推進担当 ☎ 0238-22-3004

～9月10日から16日は「自殺予防週間」です～ こころのメンテナンス、できていますか？

置賜地域では令和6年に29人の方が自殺で亡くなられています。自殺の原因はひとつではなく、経済・生活・健康・家庭等の問題が複雑に絡み合っています。

自殺に至る直前、多くの方は「うつ病」等の精神疾患を発症していると言われ、病気により正しい判断ができない状態になっています。

自殺を防ぐためには、早い段階から、「眠れない」「やる気が出ない」「好きなことが楽しめない」などの心の不調のサインに気づく必要があります。ぜひこの機会に、ご自身や周りの方の健康を振り返ってみて下さい。

置賜保健所では、保健師の他に精神科医師による相談(月2回)も行っています。

ひとりで悩まず、まずはご相談ください。



「心の健康について
(置賜保健所)JHP



■地域保健福祉課 精神保健福祉担当 ☎0238-22-3015

『9月24日～30日は結核・呼吸器感染症予防週間です！』

結核・呼吸器感染症は、細菌やウイルス等の病原体への感染により、主に呼吸器に炎症を起こす病気です。最近大流行した呼吸器感染症としては、新型コロナウイルス感染症などがあります。

結核は、早期発見できれば重症化や家族・友人などへの感染拡大を防ぐことができます。年1回は健康診断(胸部エックス線検査)を受けましょう。また、咳や痰が2週間以上続いたり、微熱や体のだるさが続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

呼吸器感染症には、ワクチン接種で発病や重症化予防が期待できるものもあります。結核も呼吸器感染症も予防の基本は、手洗いやマスク着用を含む咳エチケット、換気などです。日頃から感染対策を心がけましょう。



■保健企画課 感染症対策係 ☎ 0238-22-3002



担当者のひとことコーナー

お盆休みが近づき、帰省や旅行の計画を立てている方も多いのではないのでしょうか。移動の際はくれぐれも安全運転でお出かけください。

また、8月は置賜地域でもたくさんの夏祭りやイベントが開催されます！ぜひ各所に足を運んでいただき、置賜の夏をお楽しみください☆



置賜総合支庁総務企画部総務課企画調整担当
住所: 米沢市金池7丁目1-50
TEL: 0238-26-6100 FAX: 0238-24-1402